

かけがえのない尊い人命とお客様の財産を守る

# 「耐震補強のリーディングカンパニー」

丸高工業

丸高工業(品川区東大井、高木一昌社長、03・3740・5432)は、耐震補強・リニューアル工事に特化した建設会社として、かけがえのない尊い人命やお客様の財産、生活、文化の空間を守る事業を行っている。同社は、東京ドームや

日本武道館、東京タワーなど誰もが知っている著名な大型特殊建造物の耐震リニューアル工事を完工し、長年に亘り高い信頼を得ている。

東日本大震災以降、首都直下型地震に備えて注目を集めている耐震補強工事だが、同社は、建設各社が新築工事一辺倒だった昭和の時代から実績を積み上げてきた業界のパイオニアだ。同社の特徴は蓄積された技術と英知を結集して、極めて難易度の高い「他社にできない仕事」、「前例のない仕事」に



同社が手掛けた上智大学耐震工事



強度や軽さに優れたスチール製基礎「スチルコ」

対応している点だ。調査診断から、構造・意匠設計、見積、施工の社内一貫体制により、耐震はもとより、免震・制震に至るまで、あらゆる要望に対応できる体制を構築し、顧客の期待に込めている。

高木社長は、「お客様第一主義を経営理念に掲げる以上、お客様の期待に応えるのは当たり前で、当社は過去になかった技術、商品、工法を開発し、今までできなかった課題を解決することで、その期待を超える成果をあげて、お客様に感動していただく仕事をすることをポリシーとしています」。

また、近年は既存の市場になかった新市場創造型商品の開発に取り組んでいる。例えば、太陽光パネルの設置に使用しているコンクリート製の基礎に代わり、強度や軽さに優れたスチール製の基礎「スチルコ」(特許出願中)を開発した。これは従来のコンクリートの基礎に比べて重量が8分の1、工期は5分の1となり、さらに一日で取付から防水施工まで完了できるので、漏水の発生するリスクがないという。

この他にも躯体職の不足に対応するため、専門職を使わないコンクリート型枠システム「マスターズプロ」や天井仕上材や設備の耐震化及び落下防止工法の開発にも積極的に取り組み、高い評価を得ている。

詳しくは、ホームページにて

(<http://www.marutaka-kogyo.co.jp/>)